教員養成セミナー１０月号
動画講義

１２ヵ月完成
教職・一般教養
パワーアップノート

◆第１回◆教育原理

学習指導要領

講師：大西　圭介

テーマ１

前文（学習指導要領の性格）

テーマ１

過去の良問①（青森県　2020）

次の文は，「新小学校学習指導要領（平成29年告示）」，「新中学校学習指導要領（平成29年告示）」，「新高等学校学習指導要領（平成30年告示）」，「新特別支援学校小学部・中学部学習指導要領（平成29年告示）」及び「新特別支援学校高等部学習指導要領（平成31年告示）」の「前文」の一部である。（　　）にあてはまる語句を下から選べ。ただし，文中の下線部は，小学校では児童，中学校・高等学校及び特別支援学校高等部では生徒，特別支援学校小学部・中学部では児童又は生徒とする。

　教育課程を通して，これからの時代に求められる教育を実現していくためには，よりよい（　⑴　）を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有し，それぞれの学校において，必要な学習内容をどのように学び，どのような（　⑵　）を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら，社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという，（　⑶　）教育課程の実現が重要となる。

　学習指導要領とは，こうした理念の実現に向けて必要となる教育課程の基準を（　⑷　）に定めるものである。学習指導要領が果たす役割の一つは，公の性質を有する学校における（　⑸　）を全国的に確保することである。また，各学校がその特色を生かして創意工夫を重ね，長年にわたり積み重ねられてきた（　⑹　）や学術研究の蓄積を生かしながら，児童や地域の現状や課題を捉え，家庭や地域社会と協力して，学習指導要領を踏まえた教育活動の更なる充実を図っていくことも重要である。

テーマ１

過去の良問③（滋賀県　2020）

次の文は，学習指導要領の「前文」の一部である。文中の（　　）にあてはまる語句の組合せとして，正しいものを選べ。

　教育課程を通して，これからの時代に求められる教育を実現していくためには，よりよい学校教育を通してよりよい（　A　）という理念を学校と社会とが共有し，それぞれの学校において，必要な学習内容をどのように学び，どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら，（　B　）によりその実現を図っていくという，社会に開かれた教育課程の実現が重要となる。

　学習指導要領とは，こうした理念の実現に向けて必要となる（　C　）を大綱的に定めるものである。学習指導要領が果たす役割の一つは，公の性質を有する学校における教育水準を（　D　）ことである。

テーマ１

学習指導要領とは

学習指導要領とは、教育課程の基準を大綱的に定めるもの。
それによって、教育水準を全国的に確保しようとしている。

学習指導要領には、教科等の目標や大まかな教育内容が告示として定められており、
学校教育法施行規則では、年間の標準授業時数等が定められている。
学習指導要領や年間の標準授業時間数を踏まえて、
カリキュラムを編成することが各学校に求められている。

テーマ１

学習指導要領の目指すところ

　教育課程を通して，これからの時代に求められる教育を実現していくためには，よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有し，それぞれの学校において，必要な学習内容をどのように学び，どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら，社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという，
社会に開かれた教育課程の実現が重要となる。

テーマ１

過去の良問①（青森県　2020）

次の文は，「新小学校学　　**（平成29年告示）」，「新高等学校学**　　**中学部学習指導要領（平成29年告示）」の「前文」の一部である。**　　**線部は，小学校では児童，中学校**　　**部・中学部では児童又は生徒と**　　**。**

青森県の場合、「学校教育」の立場から重要だと思われる箇所を空欄にしている印象を受ける。
（１）学校教育
（２）資質・能力
（６）教育実践
などを空欄としている。

教育課程を通して，これからの時代に求められる教育を実現していくためには，よりよい（　⑴　）を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有し，それぞれの学校において，必要な学習内容をどのように学び，どのような（　⑵　）を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら，社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという，（　⑶　）教育課程の実現が重要となる。

学習指導要領とは，こうした理念の実現に向けて必要となる教育課程の基準を（　⑷　）に定めるものである。学習指導要領が果たす役割の一つは，公の性質を有する学校における（　⑸　）を全国的に確保することである。また，各学校がその特色を生かして創意工夫を重ね，長年にわたり積み重ねられてきた（　⑹　）や学術研究の蓄積を生かしながら，児童や地域の現状や課題を捉え，家庭や地域社会と協力して，学習指導要領を踏まえた教育活動の更なる充実を図っていくことも重要である。

テーマ１

過去の良問③（滋賀県　2020）

滋賀県の場合、「社会との連携や協働」という立場から重要だと思われる箇所を空欄にしている印象を受ける。
（A）社会を創る
（B）社会との連携及び協働
を空欄にしている。

次の文は，学習指導　　語句の組合せとして，正しいもの

　教育課程を通して，これからの時代　求められる教育を実現していくためには，よりよい学校教育を通してよりよい（　A　）という理念を学校と社会とが共有し，それぞれの学校において，必要な学習内容をどのように学び，どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら，（　B　）によりその実現を図っていくという，社会に開かれた教育課程の実現が重要となる。

　学習指導要領とは，こうした理念の実現に向けて必要となる（　C　）を大綱的に定めるものである。学習指導要領が果たす役割の一つは，公の性質を有する学校における教育水準を（　D　）ことである。

テーマ１

学習指導要領の性格と役割

学習指導要領とは，こうした理念の実現に向けて必要となる教育課程の基準を大綱的に定めるものである。学習指導要領が果たす役割の一つは，公の性質を有する学校における教育水準を全国的に確保することである。また，各学校がその特色を生かして創意工夫を重ね，長年にわたり積み重ねられてきた教育実践や学術研究の蓄積を生かしながら，児童(生徒)や地域の現状や課題を捉え，家庭や地域社会と協力して，学習指導要領を踏まえた教育活動の更なる充実を図っていくことも重要である。

児童(生徒)が学ぶことの意義を実感できる環境を整え，一人一人の資質・能力を伸ばせるようにしていくことは，教職員をはじめとする学校関係者はもとより，家庭や地域の人々も含め，様々な立場から児童や学校に関わる全ての大人に期待される役割である。

テーマ１

平成29・30年版学習指導要領の特徴

　教育課程は学校が定めるものとあるように、これまでの教育は学校にのみ任せられており、学校が閉じられた環境であったという認識が見受けられる。

　今後も教育課程は学校が定めるものであるし、地域の実情を踏まえることも以前と大きく変わるものではない。

　しかしながら、「社会に開かれた教育課程」がキーワードとなっているように、全ての大人たちが協働して子どもを育てることが目指されるようになったことには注意しておきたい。

テーマ２

総則

テーマ２

学習指導要領の枠組み

①「何ができるようになるか」(育成を目指す資質・能力)
②「何を学ぶか」(教科等を学ぶ意義と、教科等間・学校段階間のつながりを踏まえた教育課程の編成)
③「どのように学ぶか」(各教科等の指導計画の作成と実施、学習・指導の改善・充実)
④「子供一人一人の発達をどのように支援するか」(子供の発達を踏まえた指導)
⑤「何が身に付いたか」(学習評価の充実)
⑥「実施するために何が必要か」(学習指導要領等の理念を実現するために必要な方策)

テーマ２

総則の各章と対応枠組み

第１　小学校教育の基本と教育課程の役割→①「何ができるようになるか」

・教育基本法に示された目的や目標に向けた教育課程の意義、育成を目指す資質・能力、「カリキュラム・マネジメント」の実現等。

第２　教育課程の編成→②「何を学ぶか」

・資質・能力を含めた学校教育目標に基づく教育課程編成、教科横断的に育成を目指す資質・能力、授業時数等の共通事項等。

第３　教育課程の実施と学習評価→③「どのように学ぶか」、⑤「何が身に付いたか」

・「主体的・対話的で深い学び」による資質・能力の育成、言語活動の充実等。

第４　児童の発達の支援→④「子供一人一人の発達をどのように支援するか」

・学級経営、生徒指導、キャリア教育の充実等。

第５　学校運営上の留意事項→⑥「実施するために何が必要か」

・学校の指導体制の充実、家庭と地域の連携・協働。

第６　道徳教育に関する配慮事項

・全体計画の作成、道徳推進教師等。

テーマ２

過去の良問②（滋賀県　2020）

次の文は、「高等学校学習指導要領解説　　総則編」の「第６章　第１節　１　ホームルーム経営、生徒の発達の支援 第１章総則第５款１⑴」の一部である。文中の（　　）にあてはまる語句の組合せとして、正しいものを選べ。

⑴　学習や生活の基盤として、教師と生徒との信頼関係及び生徒相互のよりよい（　①　）を育てるため、日頃からホームルーム経営の充実を図ること。また、主に集団の場面で必 な指導や援助を行うガイダンスと、個々の生徒の（　②　）な実態を踏まえ、一人一人が抱える課題に個別に対応した指導を行う（　③　）の双方により、生徒の発達を支援すること。

⑴①人間関係　②複雑　③メンタルケア
⑵①対人関係　②多様　③カウンセリング
⑶①人間関係　②複雑　③コーチング
⑷①対人関係　②多様　③メンタルケア
⑸①人間関係　②多様　③カウンセリング

テーマ２

過去の良問④（香川県　2020）

次の文は、学習指導要領の「第１章　総則　第３　教育課程の実施と学習評価」の一部である。文中の（　　）にあてはまる語句の組合せとして、正しいものを選べ。

　児童が生命の有限性や自然の大切さ、主体的に挑戦してみることや多様な他者と協働することの重要性などを実感しながら理解することができるよう、各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携しつつ（　　）に実施できるよう工夫すること。

①体系的・連続的　　②体系的・継続的
③系統的・連続的　　④系統的・継続的

テーマ２

新学習指導要領　総則

第４児童の発達の支援

1 児童の発達を支える指導の充実

　教育課程の編成及び実施に当たっては，次の事項に配慮するものとする。

(1) 学習や生活の基盤として，教師と児童との信頼関係及び児童相互のよりよい人間関係を育てるため，日頃から学級経営の充実を図ること。また，主に集団の場面で必要な指導や援助を行うガイダンスと，個々の児童の多様な実態を踏まえ，一人一人が抱える課題に個別に対応した指導を行うカウンセリングの双方により，児童の発達を支援すること。あわせて，小学校の低学年，中学年，高学年の学年の時期の特長を生かした指導の工夫を行うこと。

(2) 児童が，自己の存在感を実感しながら，よりよい人間関係を形成し，有意義で充実した学校生活を送る中で，現在及び将来における自己実現を図っていくことができるよう，児童理解を深め，学習指導と関連付けながら，生徒指導の充実を図ること。

テーマ２

新学習指導要領　総則

第４児童の発達の支援

1 児童の発達を支える指導の充実

(3) 児童が，学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら，社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう，特別活動を要としつつ各教科等の特質に応じて，キャリア教育の充実を図ること。

(4) 児童が，基礎的・基本的な知識及び技能の習得も含め，学習内容を確実に身に付けることができるよう，児童や学校の実態に応じ，個別学習やグループ別学習，繰り返し学習，学習内容の習熟の程度に応じた学習，児童の興味・関心等に応じた課題学習，補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れることや，教師間の協力による指導体制を確保することなど，指導方法や指導体制の工夫改善により，個に応じた指導の充実を図ること。その際，第3の1の(3)に示す情報手段や教材・教具の活用を図ること。

テーマ２

新学習指導要領　総則

第３　教育課程の実施と学習評価

1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

各教科等の指導に当たっては，次の事項に配慮するものとする。

(1) 第1の3の(1)から(3)までに示すことが偏りなく実現されるよう，単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら，児童の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うこと。特に，各教科等において身に付けた知識及び技能を活用したり，思考力，判断力，表現力等や学びに向かう力，人間性等を発揮させたりして，学習の対象となる物事を捉え思考することにより，各教科等の特質に応じた物事を捉える視点や考え方(以下「見方・考え方」という。)が鍛えられていくことに留意し，児童が各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら，知識を相互に関連付けてより深く理解したり，情報を精査して考えを形成したり，問題を見いだして解決策を考えたり，思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習の充実を図ること。

テーマ２

新学習指導要領　総則

第３　教育課程の実施と学習評価

(2) 第2の2の(1)に示す言語能力の育成を図るため，各学校において必要な言語環境を整えるとともに，国語科を要としつつ各教科等の特質に応じて，児童の言語活動を充実すること。あわせて，(7)に示すとおり読書活動を充実すること。

(3) 第2の2の(1)に示す情報活用能力の育成を図るため，各学校において，コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え，これらを適切に活用した学習活動の充実を図ること。また，各種の統計資料や新聞，視聴覚教材や教育機器などの教材・教具の適切な活用を図ること。あわせて，各教科等の特質に応じて，次の学習活動を計画的に実施すること。

ア 児童がコンピュータで文字を入力するなどの学習の基盤として必要となる情報手段の基本的な操作を習得するための学習活動

イ 児童がプログラミングを体験しながら，コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動

テーマ２

新学習指導要領　総則

第３　教育課程の実施と学習評価

(4) 児童が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を,計画的に取り入れるように工夫すること。

(5) 児童が生命の有限性や自然の大切さ，主体的に挑戦してみることや多様な他者と協働することの重要性などを実感しながら理解することができるよう，各教科等の特質に応じた体験活動を重視し，家庭や地域社会と連携しつつ体系的・継続的に実施できるよう工夫すること。

(6) 児童が自ら学習課題や学習活動を選択する機会を設けるなど，児童の興味・関心を生かした自主的，自発的な学習が促されるよう工夫すること。

テーマ２

新学習指導要領　総則

第３　教育課程の実施と学習評価

(7) 学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り，児童の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かすとともに，児童の自主的，自発的な学習活動や読書活動を充実すること。また，地域の図書館や博物館，　美術館，劇場，音楽堂等の施設の活用を積極的に図り，資料を活用した情報 の収集や鑑賞等の学習活動を充実すること。

テーマ２

新学習指導要領　総則

第３　教育課程の実施と学習評価

2 学習評価の充実

学習評価の実施に当たっては，次の事項に配慮するものとする。

(1) 児童のよい点や進歩の状況などを積極的に評価し，学習したことの意義や価値を実感できるようにすること。また，各教科等の目標の実現に向けた学習状況を把握する観点から，単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫して，学習の過程や成果を評価し，指導の改善や学習意欲の向上を図り，資質・能力の育成に生かすようにすること。

(2) 創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう，組織的かつ計画的な取組を推進するとともに，学年や学校段階を越えて児童の学習の成果が円滑に接続されるように工夫すること。

テーマ３

総合的学習の時間

テーマ３　過去の良問①（福岡県　2020一部改題）

次の文は、小学校学習指導要領解説　総合的な学習の時間編（平成29年　文部科学省）「第７章　総合的な学習の時間の学習指導」「第３節　探究的な学習の指導のポイント」「１ 学習過程を探究的にすること」の一部を抜粋したものである。文中の（　　）に当てはまる句の組合せとして、正しいものを選べ。

探究的な学習とするためには 学習過程が以下のようになることが重要である。

【①課題の設定】（　ア　）などを通して、課題を設定し、課題意識をもつ

【②情報の収集 】　必要な情報を取り出したり収集したりする

【③整理・分析】　収集した情報を、整理したり分析したりして（　イ　）

【④まとめ・表現】（　ウ　）、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する

（中略）　もちろん、こうした探究の過程は、いつも①～④が順序よく繰り返されるわけではなく、順番が前後することもあるし、一つの活動の中に複数のプロセスが（　エ　）して同時に行われる場合もある。およその流れのイメージであるが、このイメージを教師がもつことによって、探究的な学習を具現するために必要な教師の（　オ　）を発揮することにつながる。また この探究の過程は何度も繰り返され、高まっていく。

テーマ３

総合的な学習の時間

目標

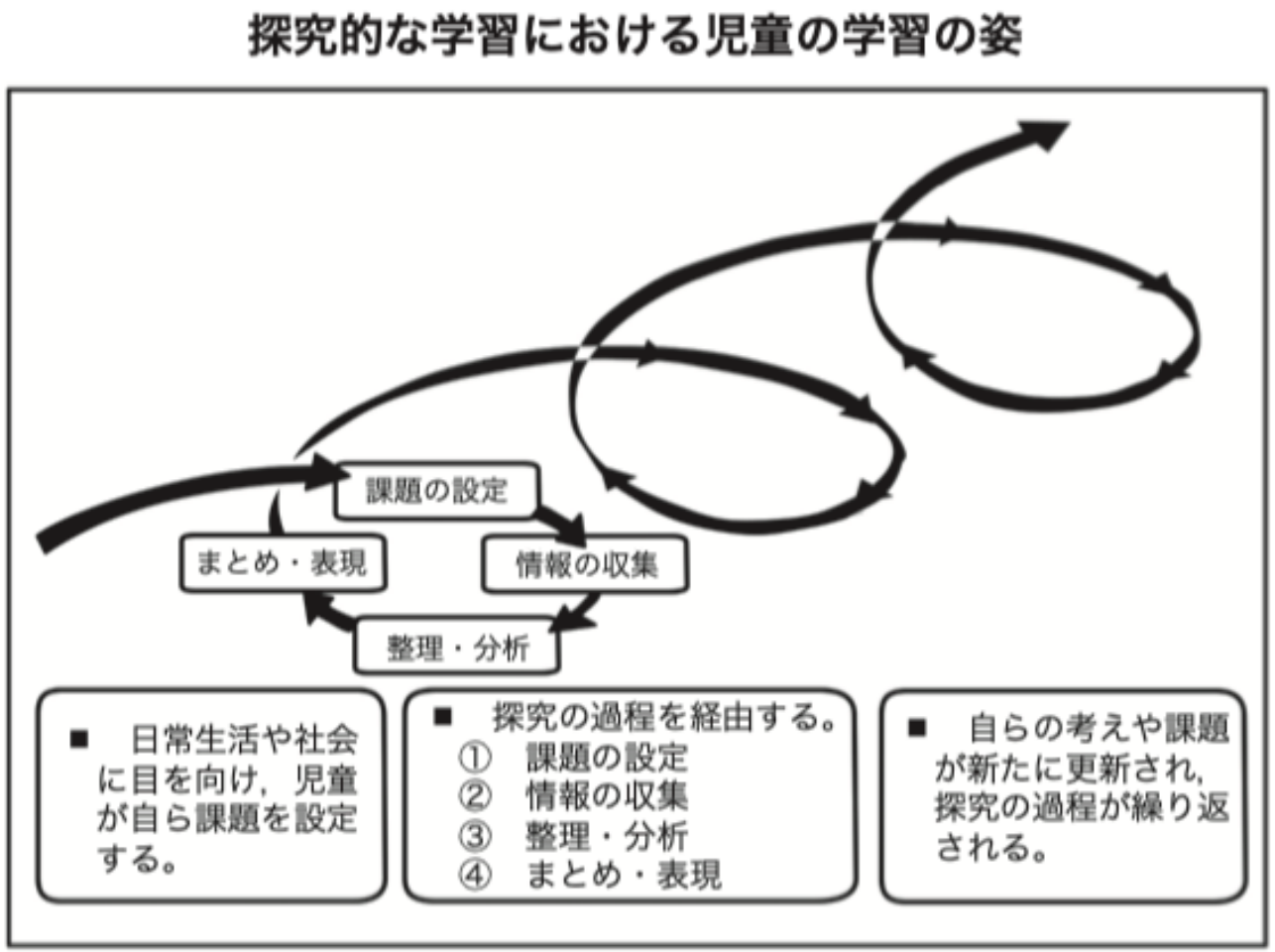
探究的な見方・考え方を働かせ，横断的・総合的な学習を行うことを通して，よりよく課題を解決し，自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 探究的な学習の過程において，課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け，課題に関わる概念を形成し，探究的な学習のよさを理解するようにする。

(2) 実社会や実生活の中から問いを見いだし，自分で課題を立て，情報を集め，整理・分析して，まとめ・表現することができるようにする。

(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに，互いのよさを生かしながら，積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

テーマ３　総合的な学習の時間



①日常生活や社会に目を向けた時に湧き上がってくる疑問や関心に基づいて，自ら課題を見付け，②そこにある具体的な問題について情報を収集し，③その情報を整理・分析したり，知識や技能に結び付けたり，考えを出し合ったりしながら問題の解決に取り組み，④明らかになった考えや意見などをまとめ・表現し，そこからまた新たな課題を見付け，更なる問題の解決を始めるといった学習活動を発展的に繰り返していく。

①～④の順序は固定ではない。

テーマ４

特別活動

テーマ４

過去の良問②（香川県　2020）

次の各文のうち，中学校学習指導要領の「第５章　特別活動」において示された目標として，誤っているものを選べ。

①　自主的，実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして，集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに，人間としての生き方についての考えを深め，自己実現を図ろうとする態度を養う。
②　多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し，行動の仕方を身に付けるようにする。
③　集団や自己の生活，人間関係の課題を見いだし，解決するために話し合い，合意形成を図ったり，意思決定したりすることができるようにする。
④　探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに，互いのよさを生かしながら，積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

テーマ４

特別活動の目標

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ，様々な集団活動に自主的，実践的に取り組み，互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して，次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

(1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し，行動の仕方を身に付けるようにする。

(2) 集団や自己の生活，人間関係の課題を見いだし，解決するために話し合い，合意形成を図ったり，意思決定したりすることができるようにする。

(3) 自主的，実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして，集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに，自己の生き方についての考えを深め，自己実現を図ろうとする態度を養う。

テーマ４

過去の良問②（香川県　2020）

次の各文のうち，中学校学習指導要領の「第５章　特別活動」において示された目標として，誤っているものを選べ。

①　自主的，実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして，集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに，人間としての生き方についての考えを深め，自己実現を図ろうとする態度を養う。
②　多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し，行動の仕方を身に付けるようにする。
③　集団や自己の生活，人間関係の課題を見いだし，解決するために話し合い，合意形成を図ったり，意思決定したりすることができるようにする。
④　探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに，互いのよさを生かしながら，積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

「総合的な学習の時間」の目標

「探求的」という言葉から推測できるようにしたい。

テーマ４

過去の良問②（秋田県　2020）

「中学校学習指導要領（平成29年３月告示）」「第５章　特別活動」に示されている学校行事の種類として正しいものを，以下から４つ選べ。

①文化的行事　　②社会体験的行事
③健康安全・体育的行事　　④儀式的行事
⑤自然体験的行事　　⑥勤労生産・奉仕的行事

テーマ４

学校行事の内容（中学校）

（1）儀式的行事

（2）文化的行事

（3）健康安全・体育的行事

（4）旅行・集団宿泊的行事

（5）勤労生産・奉仕的行事

テーマ４

学校行事の内容（中学校）

入学式，卒業式，始業式，終業式，
修了式，立志式，
開校記念に関する儀式，新任式，離任式
など

（1）儀式的行事

学校生活に有意義な変化や折り目を付け，厳粛で清新な気分を味わい，新しい生活の展開への動機付けとなるようにすること。

文化祭，学習発表会，音楽会（合唱祭），作品発表会，
音楽鑑賞会，映画や演劇の鑑賞会，
伝統芸能等の鑑賞会や講演会など

（2）文化的行事

平素の学習活動の成果を発表し，自己の向上の意欲を一層高めたり，文化や芸術に親しんだりするようにすること。

テーマ４

学校行事の内容（中学校）

健康診断，薬物乱用防止指導，防犯指導，交通安全指導，避難訓練や防災訓練，健康・安全や学校給食に関する意識や実践意欲を高める行事，運動会（体育祭），競技会，球技会など

（3）健康安全・体育的行事

心身の健全な発達や健康の保持増進，事件や事故，災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得，運動に親しむ態度の育成，責任感や連帯感の涵養，体力の向上などに資するようにすること。

修学旅行，移動教室，集団宿泊，野外活動など

（4）旅行・集団宿泊的行事

平素と異なる生活環境にあって，見聞を広め，自然や文化などに親しむとともに，よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにすること。

テーマ４

学校行事の内容（中学校）

職場体験活動，各種の生産活動，上級学校や職場の訪問・見学，全校美化の行事，地域社会への協力や学校内外のボランティア活動など

（5）勤労生産・奉仕的行事

勤労の尊さや生産の喜びを体得し，職場体験活動などの勤労観・職業観に関わる啓発的な体験が得られるようにするとともに，共に助け合って生きることの喜びを体得し，ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるようにすること。

テーマ４　過去の良問②（福島県　2020）

次の文は，小〈中〉学校学習指導要領（平成29年３月告示）「第６〈５〉章　特別活動　第２　各活動・学校行事の目標及び内容」の一部である。文中の（　　）に当てはまる語句を記せ。※中学校は〈　　〉内で読み取る。

［学級活動］

２　内容

１の資質・能力を育成するため，全ての学年において，次の各活動を通して，それぞれの活動の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し，主体的に考えて実践できるよう指導する。

⑴　学級や学校における（ Ａ ）づくりへの参画

（ア，イ，ウ省略）

⑵　日常の生活や学習への（ Ｂ ）と自己の成長及び（ Ｃ ）安全

（ア，イ，ウ，エ，〈オ〉省略）

⑶　一人一人の（ Ｄ ）形成と自己実現

（ア，イ，ウ省略）

テーマ４

学級活動の目標（小学校）

〔学級活動〕

１ 目 標

　学級や学校での生活をよりよくするための課題を見いだし，解決するために話し合い，合意形成し，役割を分担して協力して実践したり，学級での話合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに，自主的，実践的に取り組むことを通して，第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

テーマ４

学級活動の内容（小学校）

学級会、係活動、運動会や音楽会などを通して集団活動へ積極的に参画する態度を養う。

挨拶、言葉遣いなどの指導。人間関係を良好に形成する力の育成、食育など。

(1)学級や学校における生活づくりへの参画
(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

清掃、給食当番、日直、飼育当番などを通して、働くことの意義や多様性を育むなど。